

令和7年度

村上地域区長会連絡協議会

上海府地区区長会要望事項

(回答)

令和7年10月10日

令和7年度 上海府地区区長会要望事項

1 海岸線について

近年、8mを超える高波が毎年のように押し寄せ、上海府地区全域は、越波による波の花やしぶきの飛来が頻繁に起こっています。さらに、漂着ゴミや砂などが国道上に打ち上げられる状態でもありますので、越波対策や海岸漂着ゴミ対策について次のことを要望します。

(1) 上海府地区各所の越波危険区の点検、見直し、改善 【継続】

主に次の越波対策について、引き続き県への強い要望をお願いします。

- ①沖合の離岸堤の延長
- ②テトラポットを護岸堤下まで嵩上げ、又は増設する
- ③野潟区に設置されている金属製防波柵の必要箇所への設置

【回答】

高波の安全対策は、本市海岸部に位置する集落共通の課題であると認識しており、離岸堤の嵩上げをはじめとする各種対策につきましては、引き続き、県に対して早期事業化の要望を行ってまいります。

(建設課)

(2) 海岸線漂着ゴミ・流木等の早期回収処理について 【継続】

- ①特に、流木ゴミの回収・撤去依頼のワンストップ化

市回収分と県回収分が別基準で存在するため、市回収後に回収漏れとなった県回収分は、改めて区長から県担当部署に陳情していますが、市回収時には回収漏れの存在を確認できている訳ですから、改めて区長からの陳情が無くても、市から県への連絡により、海水浴シーズン前には県が回収する仕組みを構築してもらいたい。

【回答】

海岸の清掃に関しまして、日頃からご協力いただき感謝申し上げます。ごみの回収につきましては、流木や漁網など、ごみ処理場で処理できないものは県が回収処分しております。これまでも市が回収時に流木等を確認した場合は、県へ回収を依頼しており、回収漏れがないよう情報伝達を徹底してまいります。

また、県では、例年、海水浴シーズンまでに漂着ゴミ等の回収処分が完了するようにしておりますので、今後も同様に流木等を回収処分するよう要望してまいります。

(環境課)

- ②県に対して、海岸清掃予算の増額を強く要望

海岸清掃にかかる県の予算は、山北～岩船で1,000万円程と伺いました。県の対応が、予算を理由とする場合もあるようなので、予算の増額を強く要望願います。

【回答】

県への処分費要望を毎年度行っておりますが、引き続き増額を強く要望してまいります。

(環境課)

2 災害時の避難場所及び避難通路の確保・改修について

近年、新潟県のみならず、日本全土に異常気象等による災害が発生しています。当地区は、前を海、後を山に挟まれ、地震やがけ崩れ、津波等の自然災害が発生した場合の危険箇所と集落が一緒になっており、危険と隣り合わせの状態です。そこで、特に次のことを要望します。

(1) 指定緊急避難場所への経路整備について 【継続】

日没後の足元がおぼつかない高齢者が避難するための指定緊急避難場所までの避難ルートについて、誘導灯（ソーラーライト）の設置などの整備を要望します。

【回答】

誘導灯の設置につきましては、設置を希望する箇所を確認させていただいた上で対応してまいります。

（総務課）

(2) 林道猿沢柏尾線の有効活用について 【継続】

林道猿沢柏尾線については、上海府地区がいわゆる「陸の孤島」になった場合、唯一の避難経路ですので、冬季間の通行止めは止むを得ないとしても、春季の早期開通と落石等の防止工事について、引き続きご尽力願います。また、林道海府南線の整備進捗状況についても、逐次ご教授願います。

【回答】

林道猿沢柏尾線につきましては、令和6年9月及び令和7年8月以降の大雨により道路や法面の崩壊が数箇所発生し通行できない状況にあります。早期完成に向けて現在工事を進めておりますが、工事規模が大きく、冬期間は工事ができないことから令和8年度末の完了となる見込みです。

また、林道海府南線の整備状況については、令和6年1月に上海府地区区長会、同年3月には大月、野潟、間島集落を対象に説明させていただきましたが、事業再開にあたっては残区間内全地権者の合意取得が必要となることから、令和6年度より合意取得を進めております。現在までに9割方の同意が得られておりますが、一部用地において同意が得られていない状況にあり、関係者と協議を行っております。工事再開の目途がたちましたら皆様にご報告いたします。

（農林水産課）

3 危険箇所の改修について

(1) 国道345号線の改良工事について 【継続】

岩ヶ崎地内の市道滝の前岩ヶ崎線と国道345号線の交差点を基点とする前後100mの道路で、積雪時の事故防止のための改良工事を県への要望事項として願います。

【回答】

ご要望の箇所につきましては、毎年、岩船郡村上市土木振興会及び村上市県土木事業整備促進協議会を通じて県へ事業化を要望しております。引き続き早期の事業化が図られるよう要望を行ってまいります。

（建設課）

(2) 国道345号線沿いの樹木の伐採について **【継続】**

岩ヶ崎地内から羽下ヶ淵地内の国道沿いの樹木の枝葉が道路まで垂れ下がり、観光バスやダンプカーに当たるため、中央線を越えて走行している場面に遭遇します。継続的な適宜の対応を県への要望事項としてお願いします。

【回答】

市では現地の状況を確認しながら、車両や歩行者の妨げになる雑草や樹木の伐採等について、継続的に実施されるよう県へ要望を行ってまいります。

(建設課)

(3) 二級河川早川の河川幅の拡幅について **【継続】**

早川橋下の河川幅が狭くなっており、洪水時溢れる恐れがあります。特に近年は、時間雨量100mmを超えるようなことが各地でしばしば観測されており、日本中どこで発生しても不思議ではない状況ですので、早川の河川幅の拡幅工事とそれに架かっている市道早川橋の工事を早急にお願いします。

【回答】

ご要望の箇所につきましては、市道橋の橋台部に河川護岸が擦り付く形状のため河川幅が狭くなっておりますが、現時点で市道橋を架け替える計画はありません。このことから、河川の流下能力を確保し溢水等の防止軽減を図るため、河川内の堆積土砂撤去や除草などについて、引き続き河川管理者である県に対し要望を行ってまいります。

(建設課)

(4) 二級河川早川の改良工事について **【継続】**

二級河川早川は、大雨のたびに川端がえぐられ、堤防を越えそうになることから、県の緊急工事により国道橋の下に石の投入、川端にも土嚢を入れてもらいましたが、引き続き、対処工事ではなく恒久的な工事の実施を県への要望事項としてお願いします。

【回答】

県では、令和7年8月の大雨により河川が増水し、緊急工事で設置した石や土嚢が流されたことを確認しており、コンクリートによる床止め改修を検討しております。市では、引き続き、恒久的な対策が早期に実施されるよう県へ要望を行ってまいります。

(建設課)

(5) 旧野潟海水浴場入口付近のガードレール設置と反射ポールの取付と修理について

【継続】

国道345号線旧野潟海水浴場入口付近の、反対側には歩道がありますが、海岸側には歩道がなく、ガードレールもないため、数年ごとに自動車が転落する事故が発生しています。また、反射ポールも自動車による破損や折れたままになっている場合があります。事故防止のため、ガードレールの新規設置及び反射ポールの適宜の取付や修理を、県への要望事項としてお願いします。

【回答】

ご要望の箇所につきまして、県ではガードレールの設置基準を満たしていないため、早期の設置は難しいこと、多くの要望箇所があるため、現地を確認し、優先順位をつけて緊急度の高い箇所から実施していくとのこととあります。

なお、反射ポールの取付と修理についても県へ要望を行ってまいります。

(建設課)

4 その他

(1) 有害鳥獣駆除対策について **【継続】**

有害鳥獣対策について、わな免許の取得補助、また、免許取得後のいわゆるハンター保険の加入補助、田畑等への電気柵の設置と保全、有害鳥獣駆除後の後処理など一貫性のある対策の、質的向上を含めた検討・実施とその広報について改めてお願いします。

【回答】

有害鳥獣対策における担い手確保は喫緊の課題であると認識しております。現在の担い手緊急確保事業補助金や鳥獣被害防止施設補助金は継続するとともに、これらの補助金について周知を図り、担い手の確保に努めてまいります。加えて、捕獲後の処理においては、現在埋設処理を行っていただいておりますが、本年度、簡易埋設施設を設置し、効果を検証する予定であり、有効性が認められた場合は、市内全域での運用を進めてまいります。

(農林水産課)

(2) 防災無線の有線化等について **【継続】**

集落内の各家庭において、いわゆる防災無線が設置されており、災害等で避難するための一助となっておりますが、荒天時や雨天時には、内容が良く聞き取れないなどの支障が生じております。機器の故障等には個別に対応していただいているほか、防災アプリ、SNS、メールの活用促進を推奨されておりますが、地域の特性上電波状態が悪いところも多く、また、高齢化もすすんでいることなどから、デジタル化も思うように進展しない状況であることはご理解いただけたと思います。

防災上大変重要な設備でありますので、通信設備や防災無線機器の性能の高度化、または有線化など、有効と考えられる手法の検討をお願いします。

【回答】

電波の受信状態が悪い箇所については、個別に状況を確認して解消に努めておりますので具体的な箇所をお知らせください。また、有線化につきましては、災害時に倒木等により断線するおそれがあるため、現時点では考えておりません。

(総務課)